令和4年度第1回大和町総合教育会議 議事録

1 開催日時 令和5年2月27日（月） 午前9時から午前9時58分

2 開催場所 役場庁舎201会議室

3 議 題

(1) 令和5年度の教育分野における主な事業について

(2) その他

4 出席者

浅野町長，上野教育長，鎌田教育長職務代理者，若生委員，木皿委員，
大内委員

5 会議に出席した事務局職員

千葉総務課長，文屋教育総務課長，瀬戸生涯学習課長，村田公民館長，
村田教育総務課参事，黒澤教育総務課参事，青木教育総務課長補佐，
大友総務課副参事

6 傍聴者 なし

7 会議の概要 以下のとおり

開 会

総務課長：それでは定刻となりましたので，令和4年度第1回大和町総合教育会議を開会させていただきます。はじめに，本日の会議は，大和町総合教育会議運営要綱第4条により，原則公開することとなっておりますのでご了承願います。それでは，開会にあたりまして，浅野町長から挨拶を申し上げます。

開会挨拶

町長：皆様，おはようございます。本日は令和4年度第1回大和町総合教育会議をご案内いたしました，早い時間からの会議となりましたこと，また，引き続き教育委員会が行われるということで，お忙しいところご出席いただきまして感謝

申し上げます。皆様方には、日ごろから町の教育行政あるいはその他の事業につきましても深いご理解・ご協力をいただいておりますことに御礼申し上げます。まもなく終業式、卒業式、4月には入学式と、また新しいスタートの季節となり、学校関係者の方も大変お忙しいところと思いますが、よろしく願いいたします。小学校の建設につきましても、後ほど説明があると思いますが、仮設校舎が出来上がり、引越し作業をし、仮設校舎での授業が始まるということでございます。今後は解体工事が始まりますので、事故の無いように町としてもしっかり取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

さて、総合教育会議は、町と教育委員の皆様とが十分な意思疎通を図り、地域の教育課題などを共有するため実施するものであり、こうして直接委員の皆様と意見交換のできる貴重な機会と捉えております。

本日の議題は「令和5年度の教育分野における主な事業について」ということを中心に説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。なお、委員の皆様もご存じかもしれませんが、学校給食につきまして、新聞報道等でもありましたが、4月から小学校・中学校の学校給食を無償化することとしております。これまで、消費税の増税や物価高騰がありましても、保護者の負担を増やさないように、また栄養価も考慮するというので、その分を町で補填してまいりました。それについては、十分な成果があったと考えておりますが、4月からは予算化し、議会の承認を得たうえで無償化を進めていきたいと考えております。

本日の会議は、本来であれば進行は町長が議長となって進めることとなっておりますが、意見交換ということから総務課長が進行して進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

総務課長：それでは、先ほど町長からもありましたが、意見交換ということで私の方で進行役を務めさせていただきます。

次第3の議題、令和5年度の教育分野における主な事業について、資料に基づきまして1ページから、それぞれの担当事業につきまして、教育総務課長、生涯学習課長、公民館長から説明をさせていただきます。

議 題

- (1) 令和5年度の教育分野における主な事業について

教育総務課長（資料に基づき説明）

生涯学習課長（資料に基づき説明）

公民館長（資料に基づき説明）

総務課長：以上が、令和5年度の教育分野における主な事業となります。引き続き意見交換に移らせていただきます。この総合教育会議は、町長と教育委員会という執行機関同士の幅広く自由な意見交換を行う協議調整の場と位置付けられています。皆様からの自由なご意見、ご質問等をお願いします。

鎌田代理：教育総務課3番の確かな学びプロジェクト事業について、土曜学習「まほろば塾」は、今年度まで3年生が対象ということで事業を実施してきているが、昨年度の学力調査の結果を見ると1年生の数学などは良好だが、2年生になると成績が落ちている状況である。そのような成績が落ちたままの状況で、3年生で対象としても未習熟のまま土曜学習塾となり大変ではないかとの思いがある。来年度も3年生が対象となるのか。

教育総務課長：土曜学習「まほろば塾」については、中学3年生の受験対策として、志望校に合格するために希望者を対象に事業を行っているものである。ご指摘いただいた1年生、2年生の学力が低下してきている状況については、毎年標準学力調査を実施し、その結果を分析し、学力向上検討委員会の中で学力の向上に向けた取り組みについて引き続き検討していきたい。あくまでも土曜学習「まほろば塾」については、中学3年生のみの対象と考えている。

鎌田代理：受験対策の一つということで、その成果をあげるためにも来年度の学力調査などを含めて再検討する必要があると考える。

若生委員：教育総務課15番の部活動指導員配置事業と生涯学習課16番の部活動地域移行検討会議準備会は、内容的には一緒の事業になるのか。

教育総務課長：部活動指導員配置事業と生涯学習課の部活動地域移行検討会議準備会についてですが、教育総務課で予算化しているものについては、あくまでも学校の部活動について、その地域の方々に指導していただく方2名ということで考えている。基本的に土日のみならず平日もお願いし、平日4日間で1日3時間、計12時間程度、休日については1日4時間ということで1週間1人当たり16時間程度お願いしたいと考えている。

生涯学習課長：生涯学習課の部活動地域移行検討会議準備会については、休日の部活動を段階的に地域に移行していくということで国から方針が示されている。地域によって実情が違ってくるということから、取り組めるスピードについては町村によって異なってくると思うが、どのように移行していくかということを生涯学習課において、学校関係者も含めて方向性を検討するための検討会議を立ち上げるための前段階として、打合せ等をするための準備会と考えている。

若生委員：指導するための資格というものは必要となるのか。

黒澤参事：部活動指導員については、特に資格は必要ないがスポーツ指導者としての講習会を受けていただいたり、町の会計年度職員となるので、人物的にも優れている方ということで考えている。以前、部活動には外部指導者というものがあったが、それとは違い、部活動指導員というのは、教員がいなくても大会の引率をしたり、顧問に代わって部活動の指導をするなど、顧問の勤務時間を削減するという取り組みとなっている。

鎌田代理：小学校・中学校総務費のタイムレコーダー購入について、職員の勤務時間管理対応のためということだが、先生方の働き方改革も進めて欲しい。また、吉岡小学校の改築に伴いプールが使えなくなるとのことだが、来年度のプールの授業はどのようなのか。

教育総務課長：タイムレコーダーについては、委員の方からご意見をいただいていたところであるが、令和5年度にはタイムレコーダーを購入し、教職員の勤務管理について今まで以上に注意していきたい。吉岡小学校改築に伴いプールが使用できないことについては、令和5年度は民間（ピュアスポーツ）のプールをお借りして、プールの授業を行ないたいと考えている。

鎌田代理：体育センターのトイレ洋式化と宮床レクリエーション広場トイレの洋式化について、室内と屋外ということで同じ洋式化といっても取付の器具等は異なるのか。

生涯学習課長：体育施設管理費の体育センター等トイレ洋式化については、体育センター内部のトイレ、武道館のトイレ、ダイナヒルズ野球場・多目的広場に設置されているトイレ、計14カ所の洋式化を予定している。宮床レクリエーション広場については、広場のわきにある建物内部のトイレの洋式化となるが、屋内、屋外いずれにしても標準的なトイレとなる。

鎌田代理：教育分野とは異なるが、南川ダムの下の広場にオートキャンプ場を整備し

ているが、既存のトイレ施設は前近代的で暗くて非常に使いづらい。オートキャンプ場がきれいでも、トイレに問題があっては印象が悪くなると思うが対策は考えているのか。

浅野町長：南川ダムにオートキャンプ場を整備しているが、今のトイレのままでは良くないと考えているので、来年度に予算措置をし、改修する方向で検討している。

大内委員：確認だが、文屋課長からの説明で教育費の予算について約27億円という話しであったが、これは生涯学習課等含めて全体の予算ということか。

教育総務課長：教育費全般での予算は34億9,500万円ほどとなっており、来年度の当初予算が総額145億5,000万円、これに対する教育費が24%となっている。そのうち、教育総務課分が先ほどお話しした約27億円であり18.7%となっている。

大内委員：町長からも話しがあったが、給食費について、昨年委員会の中でも、コロナ禍で調味料等の物価が上がり心配の声が出たが、増分については町で負担するというので安心していただいていた。今回は、給食費を無償化していただくということである。食育は非常に大事だと思っている。予算もあると思うが、必要栄養素量というものもあるので、そこを含めて、給食費を無償化するだけでなく、栄養士の加配等給食費の無償化がより効果を出すようお願いしたい。このことについて、町長の考えもお聞きしたい。

また、義務教育は9年間しかないが、不登校について、原因としていじめ問題等もあるが、先生方の負担が増えている中で、児童のケアが厳しくなっていると思う。教員の加配など対応してもらっているが、高校になると、不登校等に対するケアが無くなってしまう。義務教育9年間の中で、限られた児童となると思うが、児童へのケアと、少しでも先生方の負担が減るための検討もお聞きしたい。先ほど出た学力の問題も含めて、中学校3年生のために実施するのではなく、計画的に実施していかないと身につかないということもあるので、予算の拡充などもお願いしたい。これまでも、教育に対しては配慮していただいていると教育長からは聞いているが、町長の考えをお聞きしたい。

町長：給食費の無償化については、これまでも町として保護者の負担とならないように給食費を上げないようにしてきた。また、栄養価についても町として対策を実施するなど食育を含めて家庭の負担を軽減してきたところである。学校給食については、どこまで町でやらなければいけないのかという思いはあるが、これまでの助成

にプラスして今の社会情勢等を考慮して無償化としたところである。けっして物価が上がったということだけではなく、長い目で見たときに子供たちの育てる環境を応援したいという思いで実施することとした。また、基本的なこととして、栄養価の高い給食というものも町としてやらなければならないことであるので、これまでと同じように実施していく。

大内委員：公費で負担すべきものと私費で負担すべきものについてきちんとしていかないと、何でも町で負担するということになり、親の意識もますます子育てに関して軽薄になってしまう。昔は親がすべきと思われることも、今は学校に任せつつあるので先生の負担が増えている。しっかりと先生方もフォローをしていかないと食育だけではなく学校の教育全体に影響してくるのではないかと思うので、考慮した施策をお願いしたい。

浅野町長：話しを聞くと、先生の負担というのは大変なものだと感じる。子どもたちの教育に専念できているのだろうかと感じることもある。本来、もっと子どもの教育に専念できる環境が必要であると考えている。今お話しがあったが、食育に限らず家庭でも考え方が変わってきており、学校に任せられる部分が多くなってきているように思われ、学校の先生方の負担も厳しくなっているのではないか。どのような応援ができるかについては、教育委員会、教育長などの意見を聞きながら検討していきたい。

木皿委員：教育総務課の部活動指導員配置事業について、教員がいなくても大会などに引率することができるということであったが、指導員の方の身分の保証や事故が起きた際の責任の所在が問題になっていると耳にするが、規定・規則といったものはできているのか。

黒澤参事：部活動指導員は国の事業であり、身分的には町の会計年度任用職員となっている。怪我等についても部活動指導員に責任が委ねられることとなるため、怪等の対応や救急車の手配、保護者への連絡等ができることとなっている。

木皿委員：学校で事故が起きた際には、担任や校長の責任という声が出てくるが、そのような状況になった場合はどのようなようになるのか。

黒澤参事：部活動指導員には、基本的に適切な対応をしていただき、最終的には学校長の責任になると思う。問題等が発生したときの報告や対応については、事前に学校、外部指導者、顧問、教育委員会で確認をしながら進めていきたい。

総務課長：その他ございますか。如何でしょうか。それでは次第（２）その他ですが、本日ご説明いたしました内容以外の事で、ご意見等ありましたらよろしくお願い致します。

よろしいでしょうか。それでは議題の部分につきましては以上とさせていただきます。皆様、ご意見大変ありがとうございました。それではこれで会議を閉じさせていただきます。閉会の挨拶を上野教育長から申し上げます。

教育長：本日は、意見の交換ありがとうございました。町当局には、教育行政に対し、日頃よりご理解とご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。特にこの３年間、コロナ禍にあつて感染予防対策に関する支援、ICT環境整備に関する支援、そして昨日引越しがほぼ終了いたしました、吉岡小学校改築に伴う財政措置等多くのご支援、ご配慮をいただき感謝申し上げます。また、生涯学習施設、文化施設、スポーツ施設等の改修、修繕についてもご配慮いただき感謝申し上げます。今後も町当局との連携を大切に、教育行政を進めてまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。本日は、大変ありがとうございました。

総務課長：以上をもちまして、令和４年度第１回大和町総合教育会議を終了させていただきます。大変ありがとうございました。